

令和元年度 公共事業再評価調査

(区分) 国補・県単

1. 事業説明シート

事業名	畑地帯総合整備事業 (国補)		事業箇所	北杜市 明野町 浅尾他	地区名	茅ヶ岳西麓	事業主体	山梨県																																																														
	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																																																	
計画期間	H28~R3	H28~R3	H28~R3		①地域・住民の意向状況 整備された農地から順次栽培を始めているが、参入する農業法人も含め、今後の営農について地域と協議したところ、作業の効率化を図るために各ほ場へ給水栓の設置が求められた。																																																																	
総事業費	707百万円	910百万円	1,071百万円		②産業・経済情勢 地区内において地元雇用約50人が見込まれるなど、地域の活性化が期待されている。																																																																	
(1) 事業の概要					③国等の方針 なし																																																																	
①事業目的及び効果 本地域は、養蚕業の衰退と高齢化の進行により荒廃農地が増えていることから、地域の営農を維持するために本事業を導入し、優良農地に再生するとともに農地集積を促進し、農業法人を中心とした大規模経営体の参入を視野に整備を実施し、新たな地域農業の展開を図る。 区画整理工事完成後は、営農形態別に農業生産団地を設定し、野菜や醸造用ぶどうを栽培する計画であり、一部区画においてはぶどうの栽培が開始されている。 □主要目標 ○農業生産力向上 農業所得増加額 12,831千円/ha ≥ 2,429千円/ha ※評価基準値 □副次目標 ○農業用排水能力の向上 □副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全 ○重要プロジェクトとしての位置づけ (新・やまなし農業大綱)					④上位計画・関連事業計画等 ・新・やまなし農業大綱 (平成27年12月策定)																																																																	
②事業概要					⑤自然環境条件等 なし																																																																	
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>現計画</td> <td></td> <td>変更計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>A=17.7ha</td> <td>→</td> <td>A=17.7ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業用排水施設</td> <td>L=1,308m</td> <td>→</td> <td>L=2,808m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥獣害防止施設</td> <td>L=3,100m</td> <td>→</td> <td>L=3,100m</td> <td></td> </tr> </table>						現計画		変更計画		区画整理	A=17.7ha	→	A=17.7ha		農業用排水施設	L=1,308m	→	L=2,808m		鳥獣害防止施設	L=3,100m	→	L=3,100m		⑥その他 なし																																													
	現計画		変更計画																																																																			
区画整理	A=17.7ha	→	A=17.7ha																																																																			
農業用排水施設	L=1,308m	→	L=2,808m																																																																			
鳥獣害防止施設	L=3,100m	→	L=3,100m																																																																			
③全体計画					(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>平成30年度まで</th> <th>令和元年度(評価実施年度)</th> <th>令和2年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>工事内容</td> <td>区画整理 A=10.5ha 農業用排水施設 L=800m</td> <td>区画整理A=7.2ha 農業用排水施設 L=300m</td> <td>農業用排水施設 L=208m 鳥獣害防止施設 L=3,100m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>675 百万円</td> <td>210 百万円</td> <td>25 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>工事内容</td> <td>区画整理 A=10.5ha 農業用排水施設 L=800m</td> <td>区画整理A=7.2ha 農業用排水施設 L=300m</td> <td>農業用排水施設 L=1,708m 鳥獣害防止施設 L=3,100m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>675 百万円</td> <td>210 百万円</td> <td>186 百万円</td> </tr> </tbody> </table>							平成30年度まで	令和元年度(評価実施年度)	令和2年度以降	現計画	工事内容	区画整理 A=10.5ha 農業用排水施設 L=800m	区画整理A=7.2ha 農業用排水施設 L=300m	農業用排水施設 L=208m 鳥獣害防止施設 L=3,100m	事業費	675 百万円	210 百万円	25 百万円	変更計画	工事内容	区画整理 A=10.5ha 農業用排水施設 L=800m	区画整理A=7.2ha 農業用排水施設 L=300m	農業用排水施設 L=1,708m 鳥獣害防止施設 L=3,100m	事業費	675 百万円	210 百万円	186 百万円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>着手時</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>707 百万円</td> <td>1,071 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工期</td> <td>H28 ~ H33(R3)</td> <td>H28 ~ H33(R3)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価基準年</td> <td>H28</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>807 百万円</td> <td>1,297 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>807 百万円</td> <td>1,297 百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>1,938 百万円</td> <td>2,352 百万円</td> </tr> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>1,913 百万円</td> <td>2,299 百万円</td> </tr> <tr> <td>品質向上効果</td> <td>47 百万円</td> <td>61 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>△22 百万円</td> <td>△8 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td>2.4</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table>				項目		着手時	変更計画時点	総事業費		707 百万円	1,071 百万円	工期		H28 ~ H33(R3)	H28 ~ H33(R3)	評価基準年		H28	R1	経済効率性	費用	807 百万円	1,297 百万円	建設費	807 百万円	1,297 百万円	便益	1,938 百万円	2,352 百万円	作物生産効果	1,913 百万円	2,299 百万円	品質向上効果	47 百万円	61 百万円	その他※	△22 百万円	△8 百万円	B/C		2.4	1.8
		平成30年度まで	令和元年度(評価実施年度)	令和2年度以降																																																																		
現計画	工事内容	区画整理 A=10.5ha 農業用排水施設 L=800m	区画整理A=7.2ha 農業用排水施設 L=300m	農業用排水施設 L=208m 鳥獣害防止施設 L=3,100m																																																																		
	事業費	675 百万円	210 百万円	25 百万円																																																																		
変更計画	工事内容	区画整理 A=10.5ha 農業用排水施設 L=800m	区画整理A=7.2ha 農業用排水施設 L=300m	農業用排水施設 L=1,708m 鳥獣害防止施設 L=3,100m																																																																		
	事業費	675 百万円	210 百万円	186 百万円																																																																		
項目		着手時	変更計画時点																																																																			
総事業費		707 百万円	1,071 百万円																																																																			
工期		H28 ~ H33(R3)	H28 ~ H33(R3)																																																																			
評価基準年		H28	R1																																																																			
経済効率性	費用	807 百万円	1,297 百万円																																																																			
	建設費	807 百万円	1,297 百万円																																																																			
	便益	1,938 百万円	2,352 百万円																																																																			
	作物生産効果	1,913 百万円	2,299 百万円																																																																			
	品質向上効果	47 百万円	61 百万円																																																																			
	その他※	△22 百万円	△8 百万円																																																																			
B/C		2.4	1.8																																																																			
④特記事項 なし					※営農経費節減効果と維持管理費節減効果の合計 費用便益分析マニュアルにより算出 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。																																																																	
⑤これまでの評価状況 なし																																																																						

2. 評価シート

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 生産性の高い営農を目指すうえでは大区画のほ場が望ましいが、現況が沢地形で大区画の整備は困難であったため、この地形で最大限の効果が発揮できる整備計画としていた。しかし、他の公共事業の建設発生土の流用が可能となり、盛土や整地等の作業は増となるものの、より生産効率の良い農地に整備することが可能となったため事業費を増とした。</p> <p>事業費707百万円→910百万円</p> <p>②進捗率 別表のとおり</p> <p>③事業進捗が順調でない理由 なし</p> <p>④今後の事業執行上の問題点 なし</p> <p>⑤変更計画の進捗予定(期間) 残事業である区画整理、鳥獣害防止施設および農業用排水施設の整備を実施し、工期内には完了見込みである。</p>	<p>⑥変更計画の変更内容(事業費)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区画整理</td> <td>129百万円の増</td> <td>より効率的な営農を実現するため、ほ場の大区画化に向け計画を見直した結果、盛土量が増えたことによる工事費の増</td> </tr> <tr> <td>農業用排水施設</td> <td>78百万円の増</td> <td>ほ場の大区画化にともなう土地利用形態の変更に対応するため、より効率的に用水を供給する目的から、給水方式を地域給水栓からほ場散水栓方式へ変更したことに伴う、工法変更による工事費の増。</td> </tr> <tr> <td>文化財調査費</td> <td>46百万円の減</td> <td>試掘調査の結果、埋蔵文化財が確認できなかったため調査費を減</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>161百万円の増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 評価項目[環境負荷等への配慮] 区画整理では、土羽構造を基本とし、在来種を主体とした緑化を実施することで、周辺景観との調和を図る。</p> <p>(6) 評価項目[コスト縮減の可能性] ほ場の大区画化のため沢地形の盛土が必要となるが、不足土を補うために、建設発生土を受け入れることで土砂運搬費のコスト縮減を図る。</p> <p>(7) 評価項目[代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続 その他() (理由) 大規模な野菜や醸造用ぶどう産地の形成が期待され、早期の整備要望も高いことから、事業費を増額し、令和3年度完了を目指す。</p>	変更工種等	事業費増減	変更理由	区画整理	129百万円の増	より効率的な営農を実現するため、ほ場の大区画化に向け計画を見直した結果、盛土量が増えたことによる工事費の増	農業用排水施設	78百万円の増	ほ場の大区画化にともなう土地利用形態の変更に対応するため、より効率的に用水を供給する目的から、給水方式を地域給水栓からほ場散水栓方式へ変更したことに伴う、工法変更による工事費の増。	文化財調査費	46百万円の減	試掘調査の結果、埋蔵文化財が確認できなかったため調査費を減	合計	161百万円の増	
変更工種等	事業費増減	変更理由														
区画整理	129百万円の増	より効率的な営農を実現するため、ほ場の大区画化に向け計画を見直した結果、盛土量が増えたことによる工事費の増														
農業用排水施設	78百万円の増	ほ場の大区画化にともなう土地利用形態の変更に対応するため、より効率的に用水を供給する目的から、給水方式を地域給水栓からほ場散水栓方式へ変更したことに伴う、工法変更による工事費の増。														
文化財調査費	46百万円の減	試掘調査の結果、埋蔵文化財が確認できなかったため調査費を減														
合計	161百万円の増															

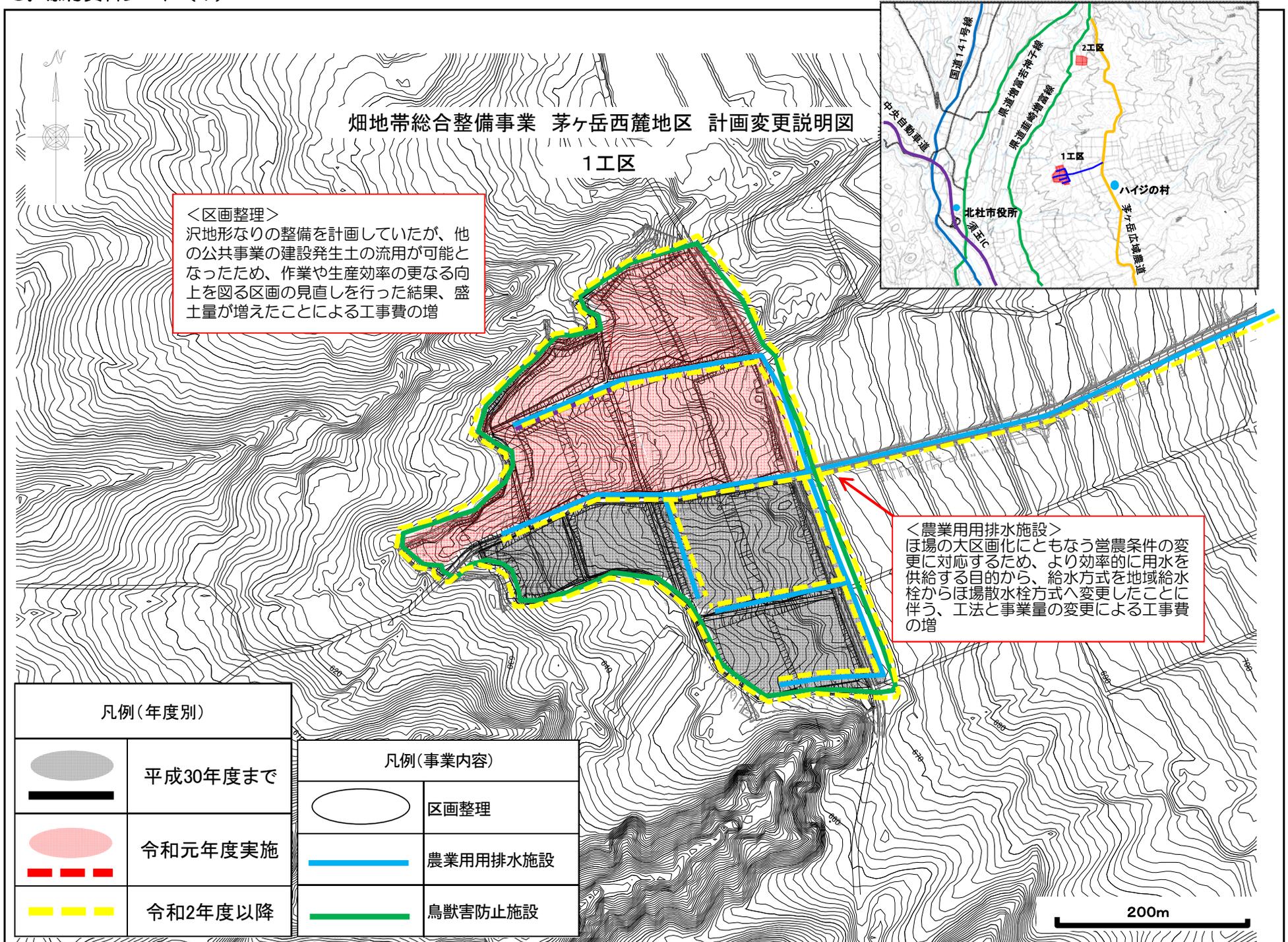
○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100

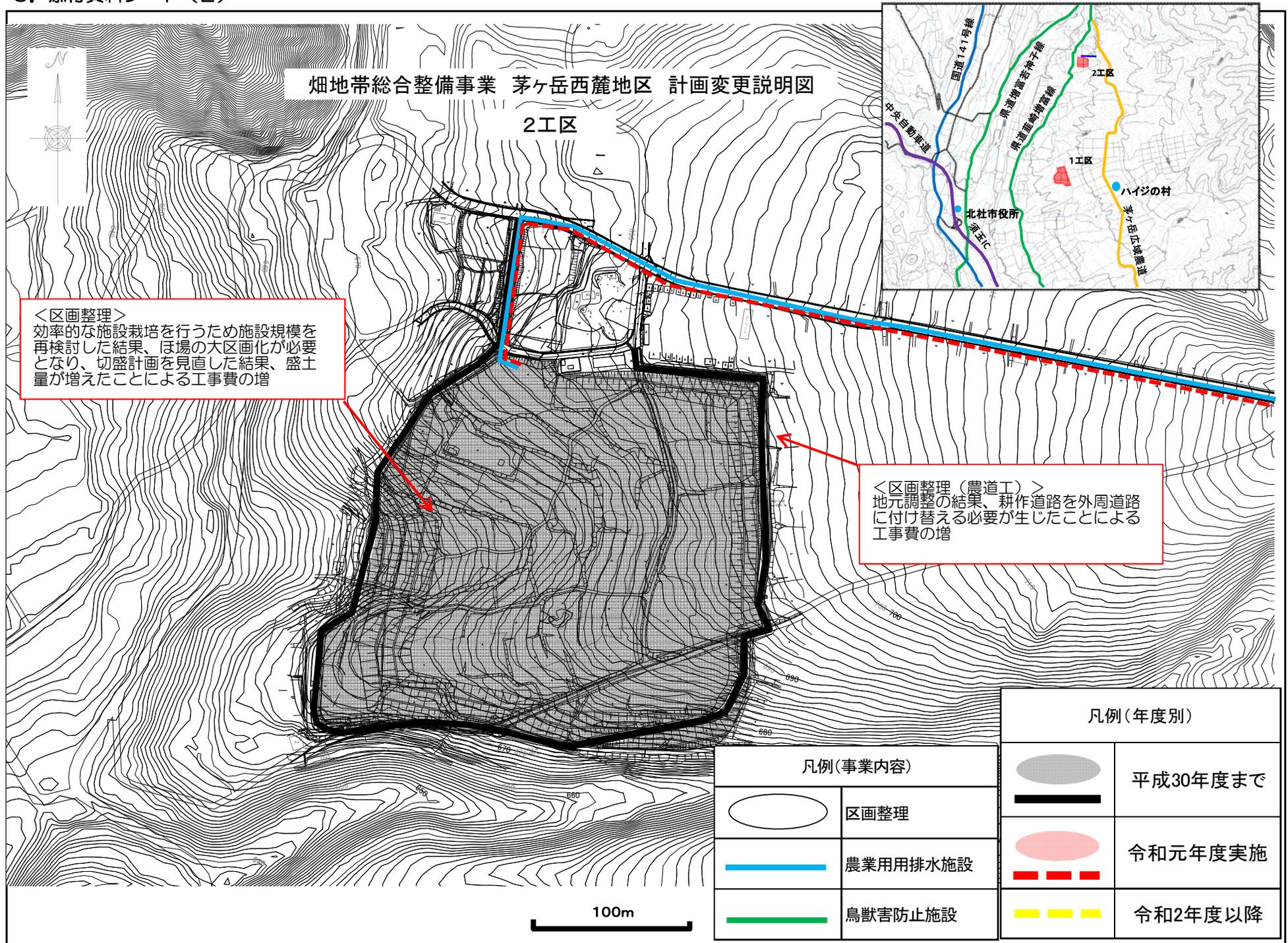
単位：%

年度		*H28	H29	H30	R1	R2	R3
現	計画	5%	30%	60%	80%	90%	100%
	実績	16%	49%	74%	97%	99%	100%
変更計画					83%	92%	100%

3. 添付資料シート（1）

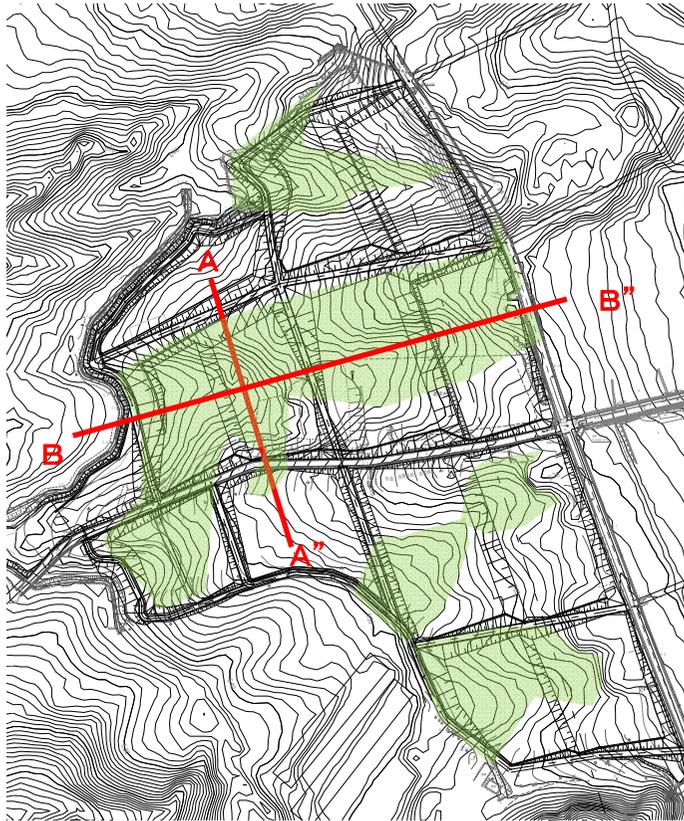


3. 添付資料シート（2）



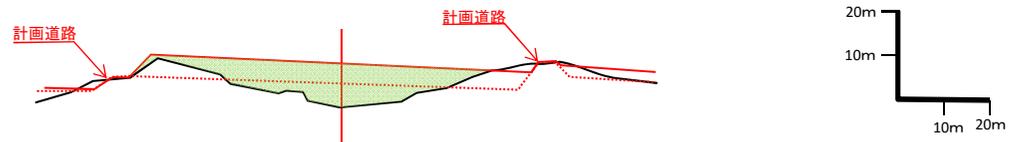
計画変更内容補足説明資料(区画整理1工区 盛土工)

当初計画においては、現地の地形を生かす中で、切土、盛土のバランスを優先した施工を検討していたが、事業着手後、他の公共事業の建設発生土の流用が可能となった。
この流用土を活用し沢部に盛土することで、より生産効率の良い農地に整備することが可能となった。

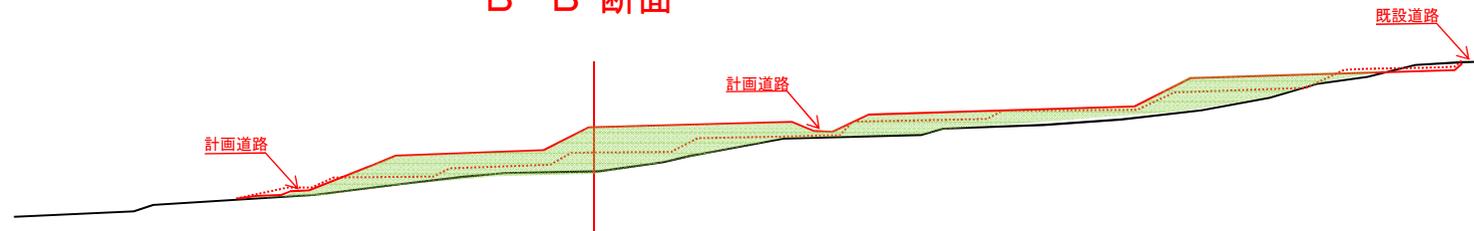


凡例	
	流用土盛土施工範囲
	当初計画高
	盛土流用後の実施高
	現況地盤高

A-A'断面



B-B'断面



3. 添付資料シート (3)

①整備前

地区内の大部分において、遊休桑園などが耕作放棄地となっている。



②1工区整備中

耕作放棄地が解消され、大区画に整備された結果、生産性の向上や農作業の効率化が図られた。



③2工区整備後 (イメージ)

整備が完了した農地では農業法人が大規模施設栽培(トマト)を開始する予定。



④1工区整備後 (ぶどう棚設置後)

整備が完了した農地では大規模農業法人が醸造用ぶどうの栽培を開始している。



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費（千円）	事業概要	進捗率
H28	150,000	測量設計 一式、区画整理 A=10.5ha	14.0%
H29	294,846	区画整理（A=10.5ha）	41.5%
H30	230,000	農業用排水施設L=800m	63.0%
R1	210,000	区画整理 A=7.2ha、農業用排水施設L=300m	82.6%
R2	100,000	農業用排水施設L=1708m	92.0%
R3	86,154	鳥獣害防止施設L=3100m	100.0%
合計	1,071,000		